



三重県議会議員 小林 正人

県民の皆様におかれましては旧年中大変お世話になりました。
本年も色々な問題・課題解決に向けて全力で取り組んでまいります。

予算決算 常任委員会

予算決済常任委員長として「令和元年版成果レポート」に基づく今後の「県政運営」等に関し知事に申し入れをおこないました。



1 誰もが安心して暮らすことができる社会づくりについて

令 和元年度6月補正予算では、防災や介護など県民の皆さんの命と暮らしを守る取組をしっかりと進めるとともに、農林水産業や観光の振興など未来を切り拓くための取組にも果敢に挑戦する予算編成がなされました。しかしながら、これまでに経験したことのない人口減少、少子高齢化が進展する中、社会における課題は複雑化しており、子どもや高齢者が当事者となる交通事故、登校中の児童等が殺傷される事件、児童への虐待など、県民の皆さんが不安を抱きかねない事件・事故が発生しています。本県でも類似の重大事故・事件が発生する恐れがあることから、これらを未然に防止するための対策については、部局間で連携し一刻も早く取り組む必要があると考えています。また、新たな在留資格制度の施行に伴い、在留外国人の増加が見込まれることから、県議会においても外国人労働者支援調査特別委員会を設置し、外国人労働者が地域社会で共生していくための支援のあり方等について調査を行っているところです。生活、就労、教育支援など、外国人住民が暮らしやすい環境の整備についても、市町や国等関係機関と緊密に連携し、早急に対策を講じる必要があると考えています。誰もが安心して暮らすことができる社会は、県民の皆さんが夢や希望を持って活躍し続けるための基盤となることから、県当局におかれましては、これらの課題解決に向けて、多様な観点から必要な対策を検討し実効性のある取組を展開されるよう要望します。

本 県の財政状況は、「三重県財政の健全化に向けた集中取組」により、県債残高、経常収支適正度の目標を達成するなど一定の成果は見え始めたものの、今後も引き続き公債費等が高水準にあること、社会保障関係経費の増加が見込まれることから、依然として厳しい状況が続くことが見込まれます。令和元年度で最終年度を迎える集中取組に基づき、歳入歳出両面における取組を進め、県有施設の見直しによる県民サービスの向上や維持管理費の抑制などを着実に推進することで、財政健全化の道筋を確実なものにするともに、次期三重県行財政改革取組においても、持続可能な財政基盤の確立、財政構造の弾力性の向上をめざし、引き続き財政運営の改革に取り組むよう要望いたします。

本会議において予算決算常任委員長として「平成30年度一般会計及び特別会計決算認定」及び「令和2年度当初予算編成に向けての基本的な考え方」に係る報告・要望をさせていただきました(11月25日)

平成30年度一般会計の歳入決算額は、前年度から7億7,059万円、0.1%減の7,324億3,752万円、また、歳出決算額においても、前年度から58億3,523万円、0.8%減の7,156億5,661万円となっており、歳入決算額、歳出決算額ともに平成28年度以降は減少傾向となっています。平成30年度決算における一般会計の実質収支は63億5,124万円の黒字であり、実質単年度収支は昨年度の赤字から71億297万円の黒字に転じ、4年ぶりの黒字となっています。財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、前年度から2.9ポイント減の95.1%となり、改善はしているものの、高い水準で推移しており、硬直化した財政が続いています。また、健全化判断比率のうち、実質的な元利償還費の水準を示す指標である実質公債費比率は、前年度と同じ14.2%であり将来見込まれる財政負担の割合を示す指標である将来負担比率は、前年度から3.2ポイント減少し、186.2%となっており、いずれも

早期健全化基準で示された基準値を下回っているものの、全国平均と比較して高い水準で推移しています。今後も社会保障関係経費など義務的経費が高い水準で推移することが見込まれることから硬直的な財政構造が続くと考えられますが、県当局におかれては、更なる県税徴収率の向上や未利用財産の売却・活用、多様な財源確保などにより歳入確保に努めるとともに、歳出面でも的確な優先度判断により事業の選択と集中を行い、効率的な財政運営が行われるよう要望いたします。その他、本委員会及び各分科会で議論のありました主な事項等についてご報告申し上げます。まず、決算に関しては、10月28日の総括質疑において、「多文化共生社会づくりへの取組」や「産業廃棄物税の状況」などのほか、「三重テラスの運営状況」「交通安全施設等の整備」「県の収入確保対策」「みえ森と緑の県民税の活用状況」「三重県国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算」等について議論さ

れました。次に、令和2年度当初予算編成に関しては、10月4日の全員協議会で、令和2年度当初予算調製方針等についての調査が行われ、23日及び24日に開催された本委員会で部局ごとに「当初予算編成に向けての基本的な考え方」についての調査を行いました。また、10月30日及び31日には各分科会において、決算及び「当初予算編成に向けての基本的な考え方」について詳細な審査及び調査が行われ、11月15日の本委員会で、「三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けた気運醸成」「沿岸漁業改善資金貸付事業」「交通安全施設整備費」「職業系の専門学科を有する高等学校の教育活動や学習活動に要する予算の確保」などについて、各分科会から報告がありました。県当局におかれては、これら本委員会や各分科会での議論・意見を踏まえ、令和2年度当初予算を編成されるよう要望いたします。



所属委員会の活動の様子

1 予算決算常任委員会 県外調査



▲ 鎌倉市議会・SDGSの取組について
▲ 都議会にて住民参加型予算の調査

2 議会運営委員会 県外調査



▲ 京都府議会ペーパーレス化等について調査
▲ 広島県議会「議会のスマート化」についての調査

3 環境生活農林水産常任委員会 県外調査



江東区議会にて木材利用促進についての調査



水産庁にて伊勢湾の環境対策について



ヨコハマ海洋市民大学にて海環境問題についての調査

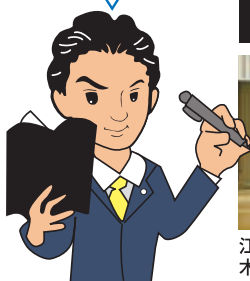
4 環境生活農林水産常任委員会 県内調査



尾鷲にて水産業の現状調査



県南部にて土砂堆積現場調査



1 海岸老朽化対策

平成30年度末の海岸施設の健全度は、三重県全体でAランクが約10%、Bランクが約20%で、鈴鹿市の健全度としてはAランクが約5%、Bランクが約50%となっています。(A、Bの順に緊急性が高い・Aランクにおいては修繕補強の措置が必要、Bランクは予防保全の範囲で対応が必要とされています。)

現在、鈴鹿管内でAランクとなっている箇所を交付金事業で実施しているのは下箕田地区海岸(令和元年度予算・1億400万円)と千代崎港山中地区海岸(令和元年度予算・1200万円)。元年度中に下箕田海岸は完了予定であり、令和2年度は千代崎山中地区海岸にシフトしていく予定(予算は未定)。

※県単予算としては令和元年度約3900万円であり、主に堤防等の小規模補修や流木の撤去に充てている状況。



Bランクに対応していくために、次期国土強靱化計画に盛り込んでいただくように地域選出与党国会議員と共に早期改修に向けて取り組んでまいります。

2 県立飯野高校大規模改修

県立高校の長寿命化対策事業として令和2年度から計画、設計においては今年度から業務を進めており予算額は759万円。工事内容としては普通教室棟の建物(昭和49年築)、令和2年度は屋上防水工事、外壁工事、3F内装工事のほか、トイレの洋式化も1系統の工事を予定。計画期間は3~4年であり、全工事費は約3億円、次年度からの予算が満額確保できるよう県教育委員会と共に活動中。



(県立神戸高校の屋上整備に関しても県教育委員会に要望中)

3 交通安全施設整備費

信号機および横断歩道、一時停止線、センターライン(黄線)の新設、塗りなおしに要する予算で地域から一番要望が多い問題、特にここ3年間予算確保に向けて注力している現状。



	令和元年度	平成30年度
交通安全施設整備費	7億6,054万5千円	7億3,219万8千円
信号機新設	4箇所	10箇所
横断歩道	2,008本予定(R1.10末現在1,710本)	1,030本
実線(黄線)	30km予定(R1.10末現在10.0km)	13km

※表内は当初予算であり、12月補正で4784万9千円増額、未就学児の移動経路に対する緊急整備や、市内要望箇所も全て整備できるよう関係部、機関に要望中・令和2年度は約14億円の予算を確保できる見込み。

4 定五郎橋交差点改良

この問題においては、これまで過去3回、県会議一般質問において要望、又県土整備部、鈴鹿建設事務所とも早期に橋の南側交差点(堤防道路側)の改良(右折レーンの設置等)が進むよう取組んできました。ようやくその方向性が見えてきましたので報告させていただきます。これまでは橋の幅員のち右折レーンを設置するという工法が濃厚でありましたが、図のように交差点自体を橋の南側に移設するという改良方法に固まりました。予算としては、令和元年度3000万円、令和2年度想定ですが3000万円から4000万円の詳細設計、用地測量に充てられます。(用地交渉次第では増額も)



※朝夕、休日において渋滞が非常に激しく、市内の中心部と西部地区を結ぶ本来の機能を果たせていない状況ですので、その緩和が大いに期待されます。



地域でも日々活動中



鈴鹿市海岸整備促進協議会総会にて



若松海岸ボランティア清掃に毎回参加



知事主催バーベキュー大会



各地域・施設等敬老会にも参加



鈴鹿サイクリング大会



鈴鹿げんき花火今年もボランティアにて参加



桜島小学校盆踊り大会キッズサポーターズクラブの一員として



日本ケアシステム30周年記念式典に参加



消防団操法訓練を激励に



MOA美術館鈴鹿児童作品展にて大会実行委員長として



福祉の杜まつりにて